

一般質問



第6回定例会・本会議 (12/3~12/13)

発言項目

◎発言順に掲載。太字は下で紹介している質問を含みます。

●中本弘

(自民党・市民クラブ・南区) 動き出した広島のみちの大改造

●石橋竜史

(自民党・保守クラブ・安佐南区) 都心部の再開発
・防災、減災の街づくり
・核兵器廃絶に向けて
・スポーツを通じての街づくり

●馬庭恭子

(市政改革ネットワーク・中区) 平和行政
・選挙における公費負担
・サッカー場
・恵下埋立地
・社会福祉法人への補助金
・市政改革協議

●星谷鉄正

(公明党・中区) 災害対応
・窓口業務の改善

広島のみち大改造

問 中央公園を含めた紙屋町・八丁堀地区の大改造を進めることは、都心の本格的な再生に向けた画期的な出来事になると思うが、どのように進めていくのか。

答 都市基盤の充実、活力とにぎわいの源であると考えられており、紙屋町・八丁堀地区の都市再生緊急整備地域の指定は、「楕円形の都心づくり」を更に深化させる絶好のチャンスである。商工会議所ビルの移転に伴う市営基町駐車場周辺の再開発を起爆剤に、また、議員からいただいた貴重な提言を活かしながら、広島のみちの大改造を加速していく。



次期市長選への出馬



中本弘 自民党・市民クラブ

問 市と市議会が市政を進める車の両輪である以上、次期市長選への出馬という重要事項は、市議会の場で明らかにしてもらいたい。引き続き市政の発展に全力を尽くす意思があるか市長の決意を伺いたい。

答 市長として次の任期に取り組みかどうかということからは、市政にとって重要な事柄なので、議員の御質問を受けて、この場でお答えする。国、県、近隣市町、経済界、そして何よりも市民の皆様とともに、引き続き広島のみちの発展に全力を注いでいく決意であり、次の市長選挙に出馬を考えている。

選挙制度の公費負担は?

問 候補者によって選挙用ポスターの単価に差があり、平成27年の選挙ではその差が最大14.5倍である。ポスター作成費はポスターしか作成できない。印刷費の水増しや作成費と請求額の差額を受けとる行為があれば市としてどうするのか。

答 ポスターの作成費の水増し請求が起るとすれば、候補者と業者が結託し、実際にかかった金額と市への請求金額の差額を着服するなどのケースが考えられるが、こうした場合には、本市は当然、候補者と業者に対する不法行為に基づく損害賠償請求を行う。



市長の平和行政は?



馬庭恭子 市政改革ネットワーク

問 出かける平和を批判し、迎える平和を主軸にする当初公言していたが、海外出張は13回以上に及ぶ。国際社会の中で被爆都市の市長として、真に平和を訴えていくことができているのか。気持ちに変化が何かあったのか。

答 「迎える平和」は、国内外多くの人々が来広し、被爆の実相に触れ、核兵器廃絶に向けた努力する決意を固めていた。ただために推進している。国連で開催されるNPT再検討会議等への出席等は、これを補強するための取り組みでもあり、核軍縮を推進している。国々の政府高官等の広島訪問等に繋がっている。

トンネル工事 増額は不要

問 高速5号線二葉山トンネル工事は、約200億円でJVが受注し事業が着工されたが、材料費が契約額に含まれていないとして業者が工事費の増額を求めている。しかし材料費が含まれない契約などあり得ない。契約書に内壁の材料費が含まれないことがありえるか。いくらの増額を求めているか。

答 公社がJVとの間で締結した同工事の契約書の仕様書に「トンネル本体工一式」という記述がみられるため、同工事の完成に必要な全てのものに係る契約と認識して差し支えないと考える。増額の要請額は、公社において企業情報が含まれていることから公表しないという取り扱いをしているので、答えられない。

安全な大規模盛土造成地へ



中原洋美 日本共産党

問 大規模盛土造成地の危険度判定調査だけでは住民は不安が増すばかりだ。「滑動崩落防止施設」工事などの支援事業を構築しておくべきではないか。

答 将来発生するおそれのある大地震に備え、大規模盛土造成地に対する耐震化対策は重要な課題であると認識している。滑動崩落防止対策の実施に当たっては、土地所有者の費用負担を伴うことから、あらかじめ事業主体や費用負担方法などの制度設計を行いたいと考えている。



都心部の再開発推進へ

問 都市再生緊急整備地域の指定により生じたメリットを活かして民間開発を促進するにあたり、本市として全庁的にわたり民間へコミットする体制づくり、また新たな制度設計、運用も必須になって来るが、如何に対応して行くのか。

答 同指定は、紙屋町・八丁堀地区における民間再開発事業が、地域整備方針に沿って、着実に進められるようにするものであると同時に、全庁を上げて積極的な取り組みを行う決意表明の側面もある。ご指摘のあった優良建築物等整備事業についても、現行の運用を改め、拡充する方向で検討する。



石橋竜史 自民党・保守クラブ

スポーツを通じた街づくりを

問 スポーツ大会の誘致やスポーツツーリズムを通じて来広者を増やし、また市民がスポーツを「観る」「やる」環境を整備すべく、産学官で連携を図りながら「スポーツコミッション」を設立をすべきと考えるが如何か。

答 スポーツ大会は観光資源になるうえ、開催地の知名度向上も期待できる。議員ご提案のスポーツコミッションも参考に、県や関係団体と協議しながら、地域が一体となった体制づくりについて検討を進め、スポーツ大会の誘致に積極的に取り組んでいきたいと考えている。

窓口業務の改善

問 これまで窓口業務についてどのような改善を行ってきたか。また、現時点で改善が決まっていることはあるか。

答 平成11年度に、区役所健康長寿課に「保健・医療・福祉総合相談窓口」を設置し、平成25年からは、転入出等が集中する繁忙期に区役所窓口の時間延長・休日開庁を試行的に実施し、待ち時間短縮に効果が見られたため、30年から本格実施した。平成26年度にはカウンターや窓口サインの改良、記載台の増設など、市民が利用しやすい窓口へ変更した。31年度からは区役所市民課に非常勤職員を増員し、昼の時間帯の待ち時間短縮を図ることとしている。



星谷鉄正 公明党

災害対応

問 市有施設のブロック塀は段階的にフェンス等に取り替えていくべきではないかと考えるが、どうか。

答 既存のブロック塀がどのような機能を果たしているかを施設個々にしっかりと確認した上で、ブロックという材料にこだわることなく、ネットフェンスや目隠しフェンス、木製の塀など、各施設の状況に応じた適切な材料により改修を進めていきたいと考えている。



安駄橋、迫田橋は拡幅で復旧を

問 7月豪雨によって三篠川で落橋した5橋の内、鳥声橋、安駄橋、迫田橋は拡幅等の改良復旧をすべき。その他の橋も地元と十分協議すべきだが、どうか。

答 鳥声橋は、新設する右岸側の橋脚を減らす改良復旧を行うよう考えている。また、安駄橋と迫田橋は、地域の主要な生活道路であること等を勘案して拡幅等の改良復旧を行う予定である。今回の災害で落橋等した橋りょうについては、現在、協議や手続きを進めており、地元の皆様は復旧について十分説明し、復旧工事の早期着手を目指す。

八丁堀地区の電停をバリアフリーに

問 広島駅から紙屋町・八丁堀地区の電停は早急にバリアフリー化し、障害のある人が移動しやすくとともに、都心の顔としてのイメージも一新すべきだが、どうか。

答 電停のバリアフリー化は、都心の東西の核を結ぶ路面電車がより一層利用しやすい公共交通機関となるためにも、広島駅南口広場の再整備に合わせて進める駅前大橋ルート完成時期をひとつの目標に据えて、できるだけ早期に実現するよう取り組む。

